

「倉敷市水島地区公共施設再編整備基本計画（案）」のパブリックコメント集約結果

「倉敷市水島地区公共施設再編整備基本計画（案）」について、「倉敷市パブリックコメント手続要綱（平成21年12月8日告示第683号）」に基づき市民の皆様から広く意見を募集しましたが、その結果は次のとおりです。

記

1 意見等の件数 13人 13件

2 御意見と市の考え方

次ページのとおりでです。

御意見は、原則、原文のまま掲載しています。なお、パブリックコメントの提出にあたり、倉敷市パブリックコメント手続要綱第2条（3）に該当しないものについては、今回公表していません。

3 今後の予定

今回のパブリックコメントを踏まえ、倉敷市水島地区公共施設再編整備基本計画を策定する際には、倉敷市公共施設再編整備支援室ホームページにて公表します。

4 参考

意見募集期間 令和6年11月25日（月）～12月24日（火）

御意見をお寄せいただきました皆様の御協力に厚くお礼申し上げます。

倉敷市 企画財政局 企画財政部 公共施設再編整備支援室

No.	御意見の要旨	倉敷市の考え方
1	色々のご配慮いただきありがとうございます。 水島市民交流センターが完成するのを楽しみにしています。地域住民の世代を超えた集いの場として活用いたします。 希望・・・公民館、図書館、児童館が1つになるので、行政担当を越えて、全館が自由に使えるような管理体制を望みます。	（仮称）水島市民交流センターは、水島地域の多様な世代の交流・活動拠点として整備してまいります。整備にあたっては、庁内で横断的に協議、検討を行い、市民の皆様にとって利便性が高い施設を検討してまいります。
2	この一年、基本計画の説明会や7月のワークショップ、これからの図書館について考える講演会など、水島の複合施設について考える良い機会をいただきました。「4. 整備する機能」「5. 事業の基本方針」「6. 施設等の整備方針」など、ワークショップなどで出た住民の意見をしっかりと取り入れたとても素晴らしい計画だと思いました。 「3. ワークショップ」では描きたいシーンが具体的に紹介されていますが、このワークショップ全体で私がとても印象に残ったイメージは、「移動式」「フレキシビリティ」「余白」など、場所を使う上での自由度をみんな欲しているんだ・・・というところでした。使い方が限定してしまう設計より、使う人の思いも寄らない発想の面白い部分に、柔軟に対応できるスペースが必要なんだろうと思いました。資料の機能の部分の、特に児童館の室内砂場などは、ウチの子どもは砂遊びが大好きだったのでとてもいいと思いました。児童館の室内に砂場を設置するとそれしか使えなくなるので反対と言われている方がいらっしゃいまし	基本計画（案）の策定にあたっては、施設利用者アンケートやワークショップ、説明会などを通じて市民の皆様に御意見をお伺いしてまいりました。（仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、多様な世代の交流・活動の拠点となるよう、機能等について、検討してまいります。 室内の砂場は、真夏や雨天時に室内で遊ぶことができるよう、ワークショップで御提案いただいたものです。今後、課題等について、さらに検討してまいります。

	たが、柔軟性を考えるなら、設計の段階で蓋をすれば別のスペースとして利用できるなど工夫出来るのであれば・・・と素人考えではありますがそのように思いました。私は地域で色々と活動してきて、特に水島地域の弱いところとして感じるのは、水島および倉敷にはとても誇れるものがたくさんあるのに、そのことを住民は知らないというところだと思います。発信が弱いんだと思います。現在、水島の地域おこし協力隊がSNSを使つての情報発信に力を入れています、WEB媒体などの部分は頑張ってもらおうとして、もうひとつ必要なのは体験出来る場所だと思います。地域の情報発信の場所として図書館複合施設はとても優れていることが谷一さんの講演会で紹介された全国の図書館をみているとわかりますが、人々がふらっと立ち寄った際に、入口付近で倉敷の自慢のお酒の利き酒や講座が開催されていたり、水島自慢の〇〇が気軽に触ったり、食べたり、「水島でこんなものが作られている」という企業の製品が実際に見たり体験出来る情報発信の場所として、住民や企業が主体となって開催できる様なスペースがあればいいなと思いました。地域交流機能として、友達やサロンなどのすでにあるコミュニティが利用しやすい場所だけではなくて、「新たにコミュニティが出来る様な場所」になればいいなと願います。 敷地内に入るとできる限り全体が見渡せて、何かをしているのがわかり、「その何かに人が興味を抱いて参加する」・・・というような仕組み・・・	
--	--	--

	例えば海外の図書館のような各層がガラス張りのできる限りオープンな雰囲気になればいいと思います。 複合施設をまちづくりの拠点として捉えている自治体がそれなりにあるように思いますが、設計は、まちづくりに詳しくパブリックマインドをしっかり持った方々にやってもらいたいです。 あと家族の意見として・・・複合施設の地域交流機能のところに「個人やグループが様々な目的で利用可能な…」ってあるけど、例えば小さい子がいるママ友集団が3～5時間とか貸し切ったりできるんやろか？子どもが小さかった時ってなかなか親子の集団でゆっくりできるスペースってなくてさ。雨とか降ると特に。図書館の本や児童館のおもちゃ借りてきて子どもは同じ部屋で自由に遊んで親は様子見ながら持ち込んだ茶菓子で喋ってできる空間あるとありがたいよねーって昔よく皆で話してた。あとは、図書館の静かにできる空間としゃべってもいい空間ってどれくらいしっかり分けるんやろ？ 娘が受験生の時「子どもうるさい」ってメッチャキレてたから防音設備に関しては気にはなる。自習部屋はwi-fi完備、簡単な飲食okは必須だと思う。	（仮称）水島市民交流センターについては、DB（デザインビルド）手法による整備を計画しており、市は整備にかかる実施方針や必要な要求水準を示したうえで、民間事業者の創意工夫が発揮された設計等、提案により効果的・効率的な施設整備を進めてまいります。 地域交流スペースの管理運営方法は、今後の検討課題となりますが、様々な情報発信や展示会などのミニイベントなどが開催可能な場所として整備を考えています。また、各貸室は、予約していただければ、貸し切りで御利用いただけます。 図書館の整備にあたっては、防音性の高い学習室（サイレントルーム）を整備し、多様な閲覧、学習スペースを整備します。また、親子で声や音を気にすることなく、楽しく安全に本に親しむことができる空間を整備します。
3	1. 太陽光発電を取り入れてほしい 2. これまでの公民館の調理室と同じようなものではなく、様々なイベントで食事を楽しむこと	（仮称）水島市民交流センターには、太陽光発電を整備するなど環境に配慮した施設の整備を検討してまい

	ができるような、キッチンスタジオにしてほしい 3. 室内の砂場はぜひ実現してほしい	ります。調理室は、イベントで活用することを想定し、利便性が高くなるよう検討してまいります。室内の砂場は、真夏や雨天時に室内で遊ぶことができるよう、ワークショップで御提案いただいたものです。今後、課題等について、さらに検討してまいります。
4	水島支所・公民館・児童館敷地は洪水浸水深 0～0.5mとされており、浸水時に支所から複合化設備(仮称；水島市民交流センター)への通路の確保が懸念される。現計画では支所から交流センターへの移動は、地上を移動する為に浸水時には移動が難しくなると思われる。これを解消するように交流センターと支所の連携性を確保するために上部通路を設置してはと考える。又、浸水を想定した場合、交流センター1階部の高さも加味する必要は有り、1階施設にも考慮する必要がある。 今までには大雨時、水島警察署南の部分（コンビニ前）は八間川が増水し道路側に水が溢れる事例が数回発生したと聞いている。実際にこの周辺の八間川西側土手は他と比べ数十cm低くなっている。この部分が八間川より溢れ八間川通り上り車線道路が冠水した場合、周辺の住民等への影響は大きいと共に、一般車両はもちろん緊急車両の通行にも支障をきたす恐れがある。そのためにもこの部分の八間川沿いの土手を高く道路側への溢れ出しを防止する工事が必要で有ると考える。	水島支所、水島公民館、水島児童館の敷地において、洪水浸水の計画規模（L1）は影響がありませんが、想定最大規模（L2）については、0～0.5mの影響があると想定しています。 水島支所と（仮称）水島市民交流センター間の上部の通路、渡り廊下の整備について、現在の配置案では、建物間の距離が離れることや、整備費が増加すること、支柱の設置による敷地利用の制約などの理由から、整備は困難と考えます。 （仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、様々な災害を想定し、浸水時にも影響が最小限になるよう建物の構造や設備について検討を行ってまいります。 この基本計画案は、（仮称）水島市民交流センターの新設整備と、水

		島支所の長寿命化改修に伴う事業の基本方針等についてとりまとめたものであり、隣接する道路等の整備については計画しておりますが、その他の付帯事業はございません。
5	ワークショップの意見を随所に取り入れてくださり、まことにありがとうございます。事業の基本方針に書かれている「多様な世代の交流・活動の促進」の実現ができればと願っております。 ただ、多様な世代の交流の中に外国人や障がい者なども含まれているのか、文章を読んでいて疑問に思いました。外国籍の労働者も多い水島の街で、多様な文化の人たちが集まって交流できる場であって欲しいと思います。また、15ページで書かれている「整備にあたっては従来の「公民館」「児童館」「図書館」機能を基本として、食を通じたコミュニケーションやイベントが可能な調理室、多目的に利用可能な貸室、情報発信や展示会、イベントの開催可能な交流スペースを整備します」とあります。この整備にあたっての一文に 「水島の地域を学ぶ」の一言を入れていただきたいと希望します。「公民館」「児童館」「図書館」の統合にあたって、床面積の縮小が財政措置のために必要条件なのは承知しております。だからこそ、廊下や階段、屋上などの共有スペースに 「水島を学ぶ」仕掛けを作成することを組み込んでいただきたいと思います。水島には「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」があり、水島の地域を	計画の事業方針「多様な世代の交流・活動の拠点となる新たな複合施設（仮称）水島市民交流センター」における“多様な世代”とは、特定の年代や性別、国籍等を限定しているわけではなく、外国籍の方や障がいを持たれた方も含めた多様な方を想定しています。 「水島の地域を学ぶ」という文言は、16ページに追記し、「様々な情報発信や水島の地域を学ぶ勉強会、展示会などのミニイベントの開催も可能になるようプロジェクターなどの設備を整備し、地域活動、地域交流を促進します」とします。 水島地域には、環境学習の拠点施設である倉敷市環境交流スクエア（倉敷市環境学習センター）にエコライブラリーやエコギャラリーなどを整備していますので、（仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、既存施設の機能や役割も踏まえ検討してまいります。

学びのフィールドにして、地域の人たちにも修学旅行の受け入れにも対応できるようにコンソーシアムが結成されています。倉敷市の総合計画にも位置付けられているこの活動に、この複合施設は対応できるようであって欲しいと希望しています。この学びの仕掛けがあることで、水島の地域の価値を高め、コンビナートがある地域を誇りに思う気持ちを高めることにつながると考えています。水島の地域を学ぶ仕組みは図書館に限定しないでいただきたいです。 地域交流スペースにおいては、椅子とテーブルだけではなく、ミーティングで書き込みができるようなボードの設置なども検討していただきたいです。また、簡易なキッチンの設置も検討されていますが、将来的にはコモンカフェの運営も想定していただきたいです。 駐車場については大型車が止まれる仕様になっているのでしょうか。台数だけでなく、フレキシブルに対応ができるようであって欲しいと願っています。 30ページ以降の建築計画の方針をみても、展示の要素が見えません。展示をする要素は書き込まれているのでしょうか。 また、建物デザインについて地域の素材を使うことなどが書いていますが、水島住民ができれば参加できるように、建設業者が決まったのちに再度ワークショップを実施したり、本棚作りや椅子作りのワークショップなど、参加を重視する事業	(仮称) 水島市民交流センターにおける各室の機能については、利用者の利便性の向上と整備にかかるコスト面などについて総合的に検討を行い、設備としての整備や備品としての貸し出しについて検討を進めてまいります。 駐車場の整備については、一般駐車場の台数を優先するため、バスなど大型車専用駐車場の整備は困難であると考えておりますが、一時的な停車は可能だと考えています。 地域交流スペースで、イベントや展示などの開催が可能になるようピクチャーレールなどの設備について整備するとともに、備品の貸し出しを検討してまいります。 本事業の推進にあたりましては、
--	---

	にしてください。 協働がうたわれる今日、新しい複合施設が、地域住民の手によって運営されるような仕組み作りが必要です。そのためには事業の整備段階から、住民参加できるように、設計していただきたいです。	進捗状況にあわせて、地域住民の皆様適切に情報提供や説明を行ってまいりたいと考えております。
6	1：今後の取り組み方について 市民への積極的な情報開示と意見交換の場を設けることを基本とし、施工業者決定の暁には、可及的速やかに、業者の計画に基づいたイメージ図の共有を行う場を設けて頂きたい。 2：施設の基本的な考え方について 交流センター（居場所・交流の場）という構想に則り、地域住民は元より、外国人も含めた万人に開かれた場であること。同時に、水島滞在型環境学習コンソーシアム活動や、コンビナート夜景、臨海鉄道など地域資源を活用した、魅力的な水島探訪プログラムを充実させることによって、今後、増加するであろう域外からの訪問者・研修生などに、水島のワクワク感を伝えられるような仕掛け（水島の歴史や、特徴が、館内を巡る形で体感できるようなイメージ）を施して頂きたい。 3：施設が保持すべき機能・備えるべき設備／機器 （全体）お洒落な感覚が必須（設置する設備・会議室が細切れにならないよう、全体的に明るく、開放的な空間デザインが望ましい。（階ごとに床で仕切られるのではなくて、フィンランドの	本事業の推進にあたりましては、進捗状況にあわせて、地域住民の皆様適切に情報提供や説明を行ってまいりたいと考えております。 水島地域には、環境学習の拠点施設である倉敷市環境交流スクエア（倉敷市環境学習センター）にエコライブラリーやエコギャラリーなどを整備していますので、（仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、既存施設の機能や役割も踏まえ検討してまいります。 （仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、緑なども楽しむことができるようデザインに配慮し、雰囲気が高く快適で利便性の高い施設を目指します。

O o d i のような階と階をつなぐ階段に工夫を凝らし各階が繋がって館全体として開放的溢れたデザインとなるのが理想）。 管理は、外部へ委託し可能な限り柔軟かつサービス精神に溢れたスタッフを配置すること。また、システム化を図り省人化を実施。カフェを併設（玉野市の図書館にあるUnocafeのような寛げるC a f é）。 また、バルコニーを設け、緑を配して、外界（空・山・川・緑）との一体感・連続性を感じられるような工夫を施して頂きたい。（図書館）静かでリラックスできる雰囲気が基本。書棚は車いすの人のことも配慮して低くし、圧迫感のないように設える。リラックスソファを用意し、年配者が居ても、辺りが暗い雰囲気にならないようにすることも大切。（水島図書館は暗いイメージがある）子どもに読み聞かせのできる場が、学生には勉強できるスペースを用意する。（公民館）誰もが創造性を発揮できる場にして頂きたい。 （クリエイションの場づくり）その為に、調理ができ、音楽を奏で、3Dプリンター／レーザーカッター／大判ポスター出力プリンター／コンピューターなどを整備して、音楽・美術・工芸・設計・工作などを得意とする人たちが集い交流できる場の設置を検討頂きたい。また、上述の2項とも関連して、来訪者が、水島の魅力に触れてワクワク感を醸成できるように、VR視聴のできるスペースを設け、コンビナート夜景や、クルーズ、	施設の管理運営手法等については、市民サービスの向上やコストのことを踏まえ、今後、検討してまいります。 （仮称）水島市民交流センターにおける各室の機能については、利用者の利便性の向上と整備にかかるコスト面などについて総合的に検討を行い、設備や備品等について検討を進めてまいります。
--	---

	亀島山探訪などを仮想体験できるようなスペースの設置検討をお願いしたい。	
7	① 「災害対策・避難施設」としての内容について 計画の中に「防災・災害対応の拠点である水島支所は長寿命化改修を行い、様々な自然災害や緊急事態の際には水島交流センターと一体的に活用します。」とされています。それを補完するための施策が20ページに記されています。それについての意見を記します。 ・新たな施設のエントランス部分の海面からの高さはいくらかでしょうか。そしてハザードマップに示されている、南海・東南海地震で予測されている津波の高さはいくらかでしょうか。今回の新しい施設の1階部分の「嵩上げ」はそのことを十分に考慮されるべきとは思いますが、案では垂直方向の考え方が示されていないか、あっても極めて希薄であると思います。バリアフリーは担保しつつ、津波対策にも資する設計は考慮されているのか知りたいです。 ・災害時の避難者への食事支援について大きな疑問があります。現在の支所で営業している食堂は「廃止」するとしてあり、さらに新たな施設では「大規模災害などの発生時には飲料を取り出すことが可能な自動販売機の設置を検討します。」とあります。避難者に食事を提供することになるなどということの想定はされないのでしょうか。災害時対応を考えるなら現在の支所の食堂を上階	様々な自然災害や緊急事態の際、（仮称）水島市民交流センターは、水島地域の防災・災害対応の拠点である水島支所と一体的に活用するとともに、冷暖房設備を備えた一時避難場所としての活用や、垂直避難が可能な避難ビルとしての活用を検討しています。 （仮称）水島市民交流センターの整備場所について、現在、津波の浸水想定はありませんが、洪水や高潮による浸水については影響があると予測しており、整備にあたっては、耐震安全性を確保するとともに、浸水などの災害も想定した整備を検討してまいります。 （仮称）水島市民交流センターについては、DB（デザインビルド）手法による整備を計画しており、市は整備にかかる実施方針や必要な要求水準を示したうえで、民間事業者の創意工夫が発揮された設計等、提案により効果的・効率的な施設整備を進めてまいります。 水島支所の市民待合スペースや相談スペースを拡充するため、現在の

へ移設するか、新たな施設の２階以上に設置するのがベストと考えます。災害避難者は自己責任で飲食を確保しろとでも言うのでしょうか。 ・可能な限りの液状化対策を図ることを強く望みます。今回の案の該当地の地質はどのようになっていますか。地下10数メートルに亘っての砂の層ではありませんか。案で「防災・災害対応の強化」を謳っていることから、特にこの点についての施策の充実を要求（要望ではありません）します。また、地質の現況について、情報開示をしていただきたいものです。 ② 「図書館」の機能について 案で示されている「図書館機能」では「蔵書15万冊を収納可能なスペース」とあります。この数字を見て驚きました。なぜ15万冊なのでしょう。水島図書館のホームページを見ると現在の「蔵書冊数 152442点」とあります。確か以前は16万冊近い冊数ではなかったでしょうか。急激な冊数減計画です。納得できません。「7月のワークショップはその前のワークショップで意見や関心が多かった「子ども」「文化」「交流」について意見交換（6ページ）」とあります。蔵書の充実（現在の冊数を増やす）を図る基本計画とすることを強く要望します。本を大事にしない程度の文化性の市政では先が思いやられます。 ③ 自然エネルギーを活用した施設づくりについて 案の「設備計画方針 環境性能」でZEB Ready	食堂は廃止します。避難者に対する食事の提供については、倉敷市地域防災計画倉敷市水防計画に基づき実施する予定ですが、炊き出しについては、必要に応じて（仮称）水島市民交流センターに整備する調理室を活用することが可能です。 整備予定地の地盤調査は今後実施する予定であり、要求水準書などの公表の際には、その時点で判明している調査結果について情報開示する予定です。液状化対策については、地盤調査結果も踏まえ、今後、どういった対策が必要か検討してまいります。 基本計画（案）の蔵書数は、収集方針及び除籍基準に従い、今後、収集・保存していく資料と除籍すべき資料の数を検討した結果、算出した数です。 設備の改修等により、省エネルギー効果の向上を目指すE S C O事業については、今年度中に実施方針を
---	--

以上を確保するとしていることは望ましいことと思います。ぜひとも実現していただきたい。その際のESCO事業者の選定はどのようにされる予定なのかお尋ねしたい。また、新たな施設が「自然エネルギーを活用したまちづくり」のシンボリックな施設となることを望みます。 ④ 「まちの記録・人々の記憶」の収集・保存・公開を行う場所へ ・コンビナートの操業に伴う多くの「公害事象」によって苦しめられてきた水島を伝承するような機能を持つ施設にすることも、一つの大きな課題として検討していただくことを要望します。水島の過去・現在・未来を「学ぶ」施設をつくる意義は大きいものと考えますし、その学び（ESD）を求めて域外から来訪する人々も確実に増えると思われます。このような施設は“大気汚染の旧指定地域”の行政で手掛けている自治体も各地にあります。 ・被害、加害の関係性ばかりではなく、企業や行政が「事象の改善に向けて」取り組んできたことも十分な学びの材料になると思っています。 ⑤ 「周辺の付帯事業」についてのプランづくりに市民の意見を十分取り入れること。今回の“パブコメ”には付帯事業は対象となっていないことは重々承知していますが、案を「水島のまちづくり」へ発展させるためには、周辺の付帯事業も案の具現化以上に重要であると考えます。私は八間川の改修（親水化）に強い思いを持っており	公表し、事業者選定手続きを進めてまいります。 水島地域には、環境学習の拠点施設である倉敷市環境交流スクエア（倉敷市環境学習センター）にエコライブラリーやエコギャラリーなどを整備していますので、（仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、既存施設の機能や役割も踏まえ検討してまいります。 倉敷市水島地区公共施設再編整備基本計画における事業の推進については、庁内にプロジェクトチームを設置し、水島地域のまちづくりという視点で庁内横断的に検討を進めてまいりました。また、基本計画の策定にあたっては、施設利用者の方に対するアンケートや、地域住民の皆様を対象にしたワークショップを開催し、御意見等をお伺いしました。 この基本計画案は、（仮称）水島市民交流センターの新設整備と、水島支所の長寿命化改修に伴う事業の基本方針等についてとりまとめたも
--	--

	ますが、それを実現するには役所内の各課横断型の検討が必要ですし、市民の合意形成も必要になるでしょう。そのようなハードルが高いことも承知の上で、「検討を行う“組織”」づくりを進めて頂くことを要望します。このことは機会あるごとに関係する方々にはお伝えしております。	のであり、隣接する道路等の整備については計画しておりますが、その他の付帯事業はございません。なお、本事業の推進にあたりましては、進捗状況にあわせて、地域住民の皆様様に適切に情報提供や説明を行ってまいりたいと考えております。
8	市内に住んでおり、2人の子供を育てています。水島公民館をメインで利用しますが、その他にも倉敷児童館、倉敷北児童館を利用することもあります。 ①新しくなった児童館について思うことは、「区切られすぎて利用しにくい」ということです。乳幼児のスペースはあってよいと思いますが、その他のスペースについては区切られすぎると、一人で2人の子供を連れて行った場合に別の部屋に行った子供に目が行き届かなくなります。水島の児童館をリニューアルする際は、そのあたりも考慮いただければと思っています。（出来れば今くらいの区切りで十分ありがたいです） ②室内砂場について ・砂が減った場合の補充によるコスト増 ・砂を口に入れたり、投げて他の子の目に入ったりしないか（トラブルのもとが増える） ・外に砂場を設置すれば十分ではないか ・室内に砂場を設置することで、他のスペースが狭くなるなどを考慮頂き、それでも導入するメリットの方が勝るのかご検討いただきたいです	（仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、庁内横断的に協議、検討を行い、市民の皆様にとって、利便性が高いデザインや機能を備えた施設を検討してまいります。 水島児童館の整備にあたっては、遊戯室、乳幼児室、集会室、創作活動室、図書コーナー、飲食コーナー、相談室等を整備する計画としていますが、児童と保護者、双方の利便性について考慮しながら検討を進めてまいります。 室内の砂場は、真夏や雨天時に室内で遊ぶことができるよう、ワークショップで御提案いただいたものです。室内砂場を実施している和気町子ども広場を視察しましたが、コスト面で大きな課題はなく、利用者のトラブルなど大きな問題はないとお伺いしております。砂を口に入れたり、投げることについては室内外に

	す。	おける共通の課題だと思いますが、今後、課題等について、さらに検討してまいります。
9	1. 調理室について 写真には壁に向かって調理台（コンロ）があり、中央にはテーブルが配置されていました。多津美公民館がその形ですがメリットは何でしょうか？現在、栄養委員は支所の調理室で切り方、調理の過程や栄養教室で学んだ知識を伝達し、そして調理の過程を参加者が見て家庭でも作れるように配慮しながら伝達講習会、親子料理教室、男性料理教室等実施しています。壁に向かってコンロがあると限られた人しか人数しか見えない状態になります。ので、現在の形を希望します。 2. 食堂について 新しくできる交流の場には飲食の持ち込みが可能となっています。これからはそういう場も必要だと思います。現在の支所の食堂は、支所に用事がなくても高齢者がお昼を食べにきています。格安で、交流の場にもなっており共食の場にもなっていて「食堂がなくなるのは困る」という声をよく聞きます。再考をお願いしたいと思います。 3. 駐車場について 一区画を広くお願いしたいです。	調理室は、公民館講座や栄養改善教室、イベントなど様々な用途での活用を想定し、講師用の調理台を設置するなど、調理台やテーブル等の機能の配置について検討を行います。 水島支所の市民待合スペースや相談スペースを拡充するため、現在の食堂は廃止します。 （仮称）水島市民交流センターに整備する地域交流スペースは、飲食も可能な場として整備してまいります。 水島支所における駐車スペースについては、区画の見直しを行い、利便性向上を図ってまいります。
10	玉島市民交流センターの湊ホールは、バリアフリーで高齢者でも車いすでもすごく使いやすいです。 新たな（仮称）水島市民交流センターのホール	（仮称）水島市民交流センターのホールも、玉島市民交流センターの湊ホール同様に、地域の音楽演奏会や踊り、演劇など文化活動のほか、

	のステージも、ぜひ、バリアフリーのステージにしていきたいです。	式典、講演などが可能になるよう舞台袖や奥行のあるステージを整備し、通路と座席は、現在よりもゆとりを持たせ、車椅子やベビーカーの方も観覧可能な席を用意するなど、ユニバーサルデザインに配慮します。
11	1 駐車場について 【懸念点】 土日にホールで大きなイベントがある時、またイベントが重なる時に駐車場が足りるのか疑問を感じる。近隣の健康福祉プラザプラザホール（約290 席）でイベントがある時、 約330台の駐車場が満車になり、施設内道路に縦列駐車している。 【提案】 隣接する水島中学校グラウンドを臨時駐車場として利用するゲートを設置して、車がグラウンドに入れるような仕組みを作っておく。（水島中学校の整備計画に含める） ②水島支所の北側出入口について 【懸念点】 旧・水島北幸町第1公園部分がチョークポイントとなり、車と人の動線が集まり、交錯しやすい場所になっている。 水島支所は南側に正面エントランスがあるが、北側（新設）の駐車場からだと迂回して入るようになる。 【提案】 水島支所の北側出入口の設置。または今ある休日用（管理用）出入口の利便性を向上させる。 ③広場・緑地について	駐車場は、（仮称）水島市民交流センター敷地内に120台以上整備するとともに、水島支所と行き来が可能な通路を確保し、駐車場を一体的に管理、共用することを検討しています。 隣接する水島中学校のグラウンドは教育施設であり、体育の授業や、部活動などで利用されるべきものですので、ゲートの設置は困難だと考えます。臨時駐車場としての活用については、イベント主催者が学校と協議を行うことになります。 水島支所の北側に市民も出入り可能な出入口があります。水島支所長寿命化改修等の際、北側出入口について改修を行い、市民の皆様の利便性を向上します。 （仮称）水島市民交流センターに

広場には児童館の遊び場も含まれるとのこと。広さ、配置、計画の概要はわからないが、子供の安全性を確保しながら多様な活動ができる場所にしてほしい。 【現行案】広場・緑地が南北に長く配置されている 【提案】新設される建物の南面に沿って、広場、緑地を東西に長く配置する。（面積は同じ） 建物との間口（接続面）が広くなり、児童館の遊び場として確保しつつ、『屋内と一体的に活用できる屋外スペース』として『交流スペース』と一体活用しやすいのではないかな。 （①児童館と屋外の遊び場の連続性 ②広場と交流スペースの連続性の両方を確保しやすい） 『屋内と一体的に活用できる屋外スペース』について ◎植栽計画は屋外だけでなく、屋内（交流スペース）も含めてトータルで計画すると空間の一体感につながる。 ◎交流スペースの外側に庇のあるデッキがあれば、広場への接続がスムーズで半屋外空間としても利用できる。 ◎広場に隣接する駐車場の一部にキッチンカー（フードカー）が入れると、イベントの幅が広がるのではないかな。 ④図書館『地域資料に関する展示ができる機能』の充実、または交流スペースでの展示スペースの充実	については、DB（デザインビルド）手法による整備を計画しており、市は整備にかかる実施方針や必要な要求水準を示したうえで、民間事業者の創意工夫が発揮された設計等、提案により効果的・効率的な施設整備を進めてまいります。広場・緑地への整備についても、いただいた御意見を参考にしながら、民間事業者からの提案を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。 地域交流スペースで、イベントなどの開催が可能になるようピクチャーレールなど展示設備について整備
--	--

	水島図書館では地域資料の展示や地域の歴史をパネル展示してくれている。地域の風土や歴史を学ぶことはとても有意義だと思うのでぜひ続けてほしい。また、一人暮らしや核家族化の増加に伴い、家庭で節句や年中行事を行うことが難しくなっていると感じる。図書館と公民館で連携して、節句の催しや年中行事を展示紹介してほしい。 ⑤建築デザインについて 屋内には地域の素材（木材）を有効に取り入れて温かみがあり、親しみやすい空間にしてほしい。新しい技術により、法改正され大型木造建築ができるようになりつつある。木材の優位性を活かしたデザインや空間づくりを積極的に取り入れてほしい。また、設置する机や椅子などにも地域の物を使用してほしい。特に児童館の遊戯室に採用してほしい。木材を多用し温かみのある雰囲気は育児環境に適していると思う。地域の素材（CLT含む）を使い、木造の空間にしてほしい。 ⑥デジタル化を導入した設備計画 運営の効率化につながり、情報発信、情報収集においても多様な使い方が可能。 例えば、ホールでのイベント（配信できるもの）をネット中継すると、過度な人、車の集中を回避できる。 （駐車場利用の軽減につながる） 公民館での講座でも活用できる設備、市民のデジタル教育が進む設備を導入してほしい。	するとともに、備品の貸し出しについて検討してまいります。地域行事や季節ごとの行事に関する展示や飾りつけについては、今後、検討してまいります。 整備手法については、DB（デザインビルド）による整備を計画しているところです。建物の構造については、施設の特性や防火機能、耐震機能や耐久性能などを考慮し、今後、検討してまいります。児童館をはじめとした室内の整備にあたっては、地域の素材やデザインなどの地域資源や県産材等を積極的に活用してまいります。 （仮称）水島市民交流センターのエントランスには、館内のイベント情報や使用状況を案内する情報表示設備（デジタルサイネージ）を導入するとともに、図書館には座席予約システム、自動貸出機などの導入を行うなど、ICTを活用し利用者の利便性を高めます。
12	私はいつも水島図書館を頻繁に利用しています	近い将来、南海トラフ巨大地震の

す。図書館は市民にとって、とても大切な公共施設の1つだと思うのですが、幼い時に母に初めて連れて行ってもらった時から、図書館は私にとってとても大切なものになりました。 人の成長過程で本に触れ、読む事は人生に欠かせない大切なものだと思います。 それは、子供にとっても同じで赤ちゃんの頃から絵本を読んだり、本に触れる事は情緒を養い、人格形成に関わってくることだと思います。 昨年、孫が生まれ遠ざかってた絵本を借りる機会が増えました。気がついたことがあります。 水島地区において図書館、児童館、水島中央公園、この3つは近くで1つにまとまっている方が断然利用しやすいです。現状の児童館は公民館の裏手にあり、駐車場もなくて本当に利用しにくいです。孫が児童館を利用できる年齢になり、頻繁に利用したいと思うのですが、この3つが近くに隣接していないため非常に利用しにくいです。特に小さな赤ちゃんや子供を連れての車の移動はとても大変で、図書館を利用するたびに、児童館がすぐ近くにあればなとずっと思っていました。小さな子供を車に乗せたり、降ろしたりを何度も繰り返すのは体力を使い娘でも大変そうです。ましてや子供が2人3人いるお母さんの大変さは容易に想像できます。水島中央公園は施設も充実していて利用される家族が多いです。図書館で絵本の貸し借りをして、公園で遊び、ピクニックがてらお昼ご飯を食べている家族連れもとても多いで	発生も危惧されるなか、水島公民館（築50年）、水島児童館（築49年）は、旧耐震基準で建築された建物で、老朽化が進行しており、これらの施設の再編整備は、喫緊の課題だと考えています。 令和2年12月に老朽化した各施設の方向性について、市民説明会、ワークショップを開催した結果、水島公民館、水島児童館、水島図書館の3施設の複合化についての御要望、御意見を多くいただき、令和4年3月に策定した倉敷市公共施設個別計画において、3施設（水島公民館、水島児童館、水島図書館）の複合化の方針を決定しました。 そして、令和6年3月に策定した倉敷市水島地区公共施設再編整備基本構想で、新たな複合施設の整備場所として、現在の水島公民館、水島児童館の敷地を活用し、水島地域の多様な世代の交流・活動拠点となる複合施設を整備するとともに、様々な自然災害や緊急事態の際には、水島支所と合わせて、国、県等の関係機関と連携するための駐車場や会議室、活動スペースを確保するなど、防災・災害対応機能の強化を図る整
--	--

	す。そこに児童館があれば、家族にとってはとても利用価値のあるレジャースポットになると思います。車での移動が減って環境にも良いと考えます。もちろん子供がいる家族ばかりではないので、反対意見もあるかもしれませんが、少子化で日本の将来が、特に地方の将来を憂いている昨今にあっては未来を担う小さな子供がいる家庭にとって何がベストかを考えて、計画を立てていくことがとても重要と考えます。 水島に生まれた時から住んでいる私にとっては、公民館と市役所を1つの建物に建て替えて、駐車場をもっともっと広くして利用しやすくなった方がとても有意義な整備計画だと思います。水島の将来を考えて再編整備していくなら、全てを1つにまとめるのではなくて市役所は、市役所として特化した施設や設備を充実させて、ファミリー層が多く利用することが見込まれる上記の施設3つは近くに1つにまとめて整備することがベストだと思います。再考をお願い致します。	備の基本方針を定めました。 新たな複合施設である（仮称）水島市民交流センターは、子供たちが健やかに遊び、地域の文化や歴史を学び、「育む」「学ぶ」「憩う」「作る」「楽しむ」「遊ぶ」などの活動を通じて、多様な世代が交流し、つながる場所を目指して整備を行ってまいります。
13	・建物の設計に際しては、現在、公民館や図書館、児童館を利用している団体や市民、周辺住民に意見を聞く機会を設けてほしい。中央図書館を核とした市庁舎再編の際には設計の段階で、設計業者が市民の意見を聞いたり、ワークショップを開いたりするプロセスを要求水準書に明記している。水島地区の複合施設についても実施してほしい。特に、将来複合施設を一番長く利用する、子どもたちや学生、子育て中の親子などを対象にし	本事業の推進にあたりましては、進捗状況にあわせて、地域住民の皆様適切に情報提供や説明を行ってまいりたいと考えております。 なお、基本計画案の策定にあたっては、庁内に設置したプロジェクトチームで、施設を所管する担当課などと庁内横断的に協議を行っております。また、市PTA連合会水島協議

た意見を聞く会やワークショップなどを開いてほしい。 ・事業者を決定する公募型プロポーザルの選定のプロセスを公開で実施し、談合などがない、公正な選定がなされていることを示してほしい。 ・子どもが小さい頃には水島児童館を利用していた。現在も図書館、水島支所や水島公民館などはよく利用しているものとして、公民館、児童館前の百間川沿いの道路は夕方の時間帯、混雑していて、複合施設ができた際には、それが更にひどくなるのではないかと懸念する。水島児童館に隣接する小ざくら保育園の迎えの時間とも重なって、夕方の時間帯の事故など、不安要素も大きい。 ・室内砂場の設置には反対です。子育て支援の現場で、日々、概ね0歳から3歳の乳幼児と親子と関わるものとして、児童館の建物内に砂場を設けることに疑問を持ちます。ワークショップに参加した際に紹介されていて一時例ととらえていましたが、計画に盛り込まれていて驚きました。実際子育て中のお母さんに聞いても、屋外スペースがほとんどない計画をみたら、予約制の体育館以外にも体を動かすことができるようなスペースの設置を希望する声がありました。砂場は屋外スペースに設置してほしいです。夏場の猛暑には日陰になるような工夫のされた屋外の砂場を希望します。 ・現在の児童館のように、駐車スペースが必要な際には、駐車場として使える屋外スペースを設け	会や、水島地域の高校である古城池高校の生徒さんから意見をいただいたり、協議をさせていただいております。 事業者を選定する際の実施方針や、要求水準、募集要項などについては、ホームページに公表します。一方で、審査会については、提案する企業等の秘匿すべき情報などもあるため、非公開で行います。なお、選定結果や講評については、早期に公表します。 （仮称）水島市民交流センターの整備に伴う出入口の整備や、駐車場からの誘導については、関係機関と協議を行い、周辺の道路環境に影響がないよう検討してまいります。また、市道水島北幸町1号線を廃止し、水島中学校の敷地と一体的に整備することにより、歩行者、自転車通路を確保するとともに、市道連島町連島西千鳥町線沿いの歩行者通行幅について拡幅整備をおこない、安全な通行に配慮してまいります。 室内の砂場は、真夏や雨天時に室内で遊ぶことができるよう、ワークショップで御提案いただいたものです。砂場は、室内と屋外の2箇所整
---	--

	てほしいです。 ・ライフパークの図書室が自然史博物館の移転、リニューアルで大幅に縮小されてしまう計画です。ライフパーク倉敷にある蔵書6万冊はどこにいきますか？水島エリアとして蔵書数が減ってしまう事を危惧します。	備する方針ですが、今後、課題等について、さらに検討してまいります。 現在の児童館には、駐車場はありませんが、（仮称）水島市民交流センターの整備にあたっては、敷地内に駐車場を120台以上整備するとともに、水島支所と行き来が可能な通路を確保し、駐車場を一体的に管理、共用することにより、利用者の利便性を高めてまいります。
--	---	--